

中学歴史プリント（過去問類似）

鎌倉時代

名前

得点

/10

問1 11世紀末から断続的に行われた十字軍の遠征が、ヨーロッパ社会にもたらした影響として最も適切なものはどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 地中海貿易が活発になり、イタリアの港町が繁栄した
2. イスラム教勢力が一掃され、中東全域がキリスト教化した
3. 羅針盤が伝わり、大西洋を通じた新航路の開拓が始まった
4. カトリック教会の権威が失墜し、宗教改革が直ちに始まった

問2 後醍醐天皇は、鎌倉幕府を滅ぼした後に「建武の新政」と呼ばれる新しい政治を開始しました。この政治体制の特徴について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 公家（朝廷）を重視し、天皇が直接政治を行う体制
2. 御家人を大切に、武士の慣習を最優先する体制
3. 執権と連署を置き、合議制によって進める体制
4. 摂政や関白を任命し、貴族が実権を握る体制

問3 鎌倉幕府の支配の仕組みにおいて、将軍と御家人の間に「御恩と奉公」と呼ばれる関係が成立した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 将軍が御家人の先祖伝来の土地所有を保証する代わりに、武力による奉仕を求めたため
2. 朝廷が定めた律令制度を維持するために、全国の武士を役人として組織したため
3. 大陸からの侵攻に備えるため、すべての農民に武器を持たせて兵士としたため
4. 商業の発展を目的として、将軍が全国の市場の通行税を免除したため

問4 鎌倉時代の将軍と御家人の間には、土地を媒介とした主従関係が結ばれていました。将軍が御家人の功績を認め、先祖伝来の領地の所有権を保証したり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりする恩恵を何と呼びますか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 奉公
2. 地頭
3. 御恩
4. 守護

問5 江戸時代の統治の仕組みを解説した資料において、「江戸に置かれた中央政府が全国を支配し、各地の領主である大名が自分の領地を統治した」という記述があります。この文中の「江戸に置かれた中央政府」を指す言葉として正しいものを選びなさい。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 幕府
2. 朝廷
3. 院
4. 五大老

問6 鎌倉時代には、武士の精神的支柱となる新しい仏教が次々と誕生しました。中国の宋から禅宗の一つである臨済宗を伝え、幕府の保護を受けて武士の間で広まったほか、中国から持ち帰った茶の種をまいて喫茶の習慣を日本に広めたとされる僧侶は誰ですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. 栄西
2. 道元
3. 親鸞
4. 一遍

問7 日本の歴史を時系列で整理した際、平安時代の終わりにあたる12世紀末から、室町時代が始まる前の14世紀前半までにあたる、日本初の本格的な武家政権が成立していた時代を何と呼ぶか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 奈良時代
2. 鎌倉時代
3. 室町時代
4. 江戸時代

問8 北条泰時が1232年に御成敗式目を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 三重県公立入試 類似）

1. 承久の乱のあとに増加した所領をめぐる争いを、武士の慣習に基づいて公平に裁く基準を示すため。
2. 律令に基づいた政治を再興し、貴族や寺社が持つ土地を幕府が直接管理する仕組みを整えるため。
3. 江戸幕府の成立に伴い、全国の諸大名が勝手に城を補修したり婚姻を結んだりすることを禁止するため。
4. キリスト教の布教を制限し、貿易を幕府の管理下に置くことで幕府の財政基盤を固めるため。

問9 鎌倉幕府の御家人は、将軍から受けた恩恵に対し、一朝事あるときには「いざ鎌倉」と駆けつけて軍役を果たすなどの奉公の義務を負っていました。このような御家人たちを軍事的に統制し、管理・監督するために設置された組織はどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 侍所
2. 政所
3. 問注所
4. 評定衆

問10 鎌倉時代に宋（中国）から伝えられた新しい仏教の宗派で、座禅を組んで厳しい修行を行い、自らの力で悟りを開こうとする特徴を持つものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 禅宗
2. 浄土宗
3. 時宗
4. 日蓮宗

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地中海貿易が活発になり、イタリアの港町が繁栄した	遠征軍の輸送や補給、東方との交易を通じて、ベネチアやジェノバなどの北イタリア諸都市が経済的に大きな利益を得ました。この経済的發展は、後のルネサンスへとつながる土台となりました。
問2	答え 1 公家（朝廷）を重視し、天皇が直接政治を行う体制	後醍醐天皇が進めた建武の新政は、武家政治を否定し、天皇や公家が政治の実権を掌握することを目指したものでした。しかし、武士の恩賞などが不十分であったことから武士の不満を招き、わずか数年で崩壊することとなりました。
問3	答え 1 将軍が御家人の先祖伝来の土地所有を保証する代わりに、武力による奉仕を求めたため	武士にとって最も重要な基盤は自身の領地であり、将軍がその領有権を法的に保証（本領安堵）したことが、強固な主従関係の背景にあります。この土地の保障と引き換えに、御家人は命をかけて戦うという合戦への参加や警備といった軍事的な「奉公」の義務を負いました。このように土地を媒介とした契約に近い性質を持っていたのが中世の主従関係です。
問4	答え 3 御恩	鎌倉時代の主従関係は、将軍からの恩恵である「御恩」と、それに応える御家人の義務である「奉公」によって成り立っていました。御恩には、先祖伝来の所領を認める「本領安堵（ほんりょうあんど）」と、軍功に対して新しい領地を与える「新恩給与（しんおんきゅうよ）」の2種類があります。地頭や守護は役職の名前であり、その地位に任命されることも御恩の一環でしたが、制度全体の名称ではありません。
問5	答え 1 幕府	徳川氏が将軍として君臨する中央政府を「幕府」と呼び、これと各地の大名が治める「藩」を組み合わせた統治体制を幕藩体制と呼びます。武士が政治を行う組織としての幕府は、天皇を中心とする朝廷から政治を委ねられるという形式をとりつつ、実際には全国の家や外交、貨幣の鑄造などを独占的に管理していました。
問6	答え 1 栄西	鎌倉時代初期に宋へ渡った栄西は、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗の一派、臨済宗を日本に伝えました。また、修行中の眠気覚ましや薬としての効能に着目し、著書『喫茶養生記』を通じて茶を飲む習慣を広めたことでも知られています。座禅による精神修養を重んじる教えは、当時の幕府や武士から厚い信頼を得ました。
問7	答え 2 鎌倉時代	平安時代（1000年頃）と室町時代（1400年頃）の間に位置する時代区分です。1200年前後から14世紀前半まで続き、源頼朝が幕府を開いたことで武士による政治が確立されました。前後の時代のつながりを把握することが、日本の時代区分を理解する上で重要です。
問8	答え 1 承久の乱のあとに増加した所領をめぐる争いを、武士の慣習に基づいて公平に裁く基準を示すため。	北条泰時は、北条氏が幕府の実権を握る中で、武士（御家人）たちの信頼を得るために公平な裁判を行う必要がありました。それまでは公家の法律である律令が一部使われていましたが、武士には馴染みが薄かったため、頼朝以来の慣習を明文化した御成敗式目を作り、武家政治の拠り所としました。
問9	答え 1 侍所	鎌倉幕府において、軍事と御家人の統制を専門的に担った組織が侍所です。御家人は将軍から所領の支配を認められるなどの「御恩」を受ける代わりに、軍役や番役といった「奉公」の義務を負っていました。この主従関係を基盤とした政治制度を支えるため、侍所は非常に重要な役割を果たしました。なお、政所は一般政務や財政、問注所は裁判をそれぞれ担当していました。
問10	答え 1 禅宗	鎌倉時代に成立した新仏教の中でも、座禅による修行を重視する教えは禅宗と呼ばれます。栄西によって伝えられた臨済宗や、道元によって伝えられた曹洞宗がその代表です。これらは「自力」の教えを強調しており、他者の救済を念じる浄土信仰などとは対照的な性格を持っていました。